



とびっくす

No.118

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和6年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～宍道湖のヤマトシジミ資源は継続的に低下～

島根県水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査を6月3・4・6日に実施しましたので結果を報告します。

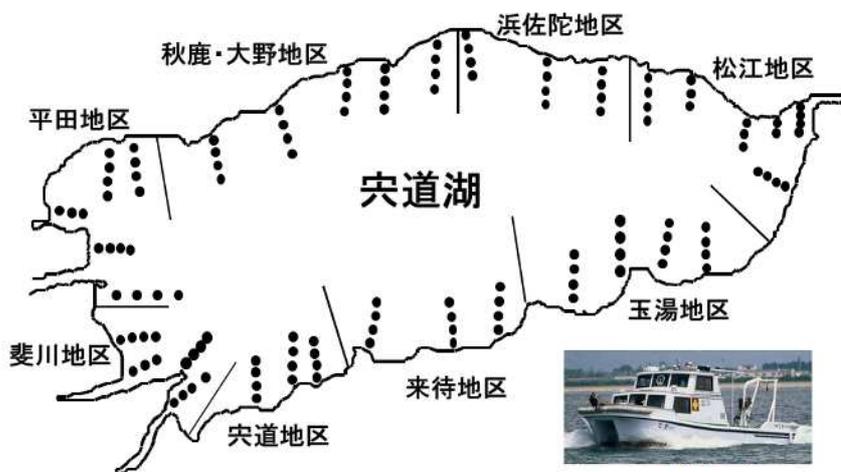


図1 調査地点



試験船「ごず」

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において試験船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1m²)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでヤマトシジミをサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和6年度春季のヤマトシジミの資源量(表)は約3.1万トン、475億個が生息していると推定されました。昨年秋季(約4.7万トン)と比べると、約1.6万トン(34%)の減少、昨年春季(約6.3万トン)からは約3.2万トン(51%)の減少で推移しています(図2)。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約2.3万トン、72億個でした。これは、平成14年以降の、春季資源量の過去22年平均値(約1.8万トン)の131%でしたが、昨年春季(約4.5万トン)からは大幅に減少していました。

表 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	2,046	350
成貝	殻長12mm以上17mm未満	5,584	53
	殻長17mm以上(漁獲対象)	23,304	72
	成貝合計	28,888	125
全資源量		30,934	475

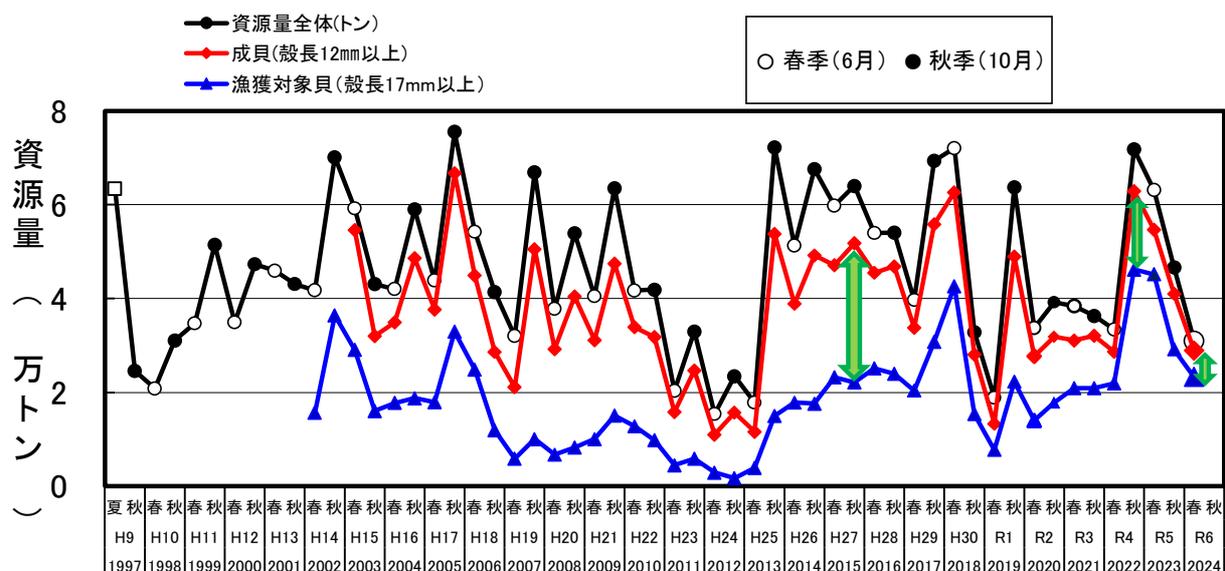


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今後の見通し

今季の漁獲対象資源重量は昨年秋と比較して20%の減少、資源量全体についても34%の減少となったものの、漁獲対象資源は平成14年以降の春季調査の中で6番目に高く、過去21年間の平均の131%でした(図2、図3青枠部分)。一方で、漁獲対象となる直前の小型成員(殻長12mm以上17mm未満)の個体数密度は昨年秋季に比べると大きく減少しています(図3緑枠部分)。また、重量についても令和4年秋以降は次第に減少しており、さらに資源全体が安定的に6万トン前後で維持されていた平成25年~28年と比べると格段に低くなっています(図2: 成員と漁獲対象貝との差分、上下緑矢印)。

現在のところ、漁獲量は高水準にある漁獲対象資源に支えられていますが、小型成員の低下傾向は継続しており、中期的な動向には予断を許せません。また未成員(殻長12mm未満)の個体数密度についても、昨年春と比較すると著しい低下を示しており(図3黄枠部分)、長期的にも懸念を拭えない状況です。

今後、漁獲対象資源の計画的な利用や、漁獲対象となる前の未成員の資源動向についても注視していくことが重要と考えられます。

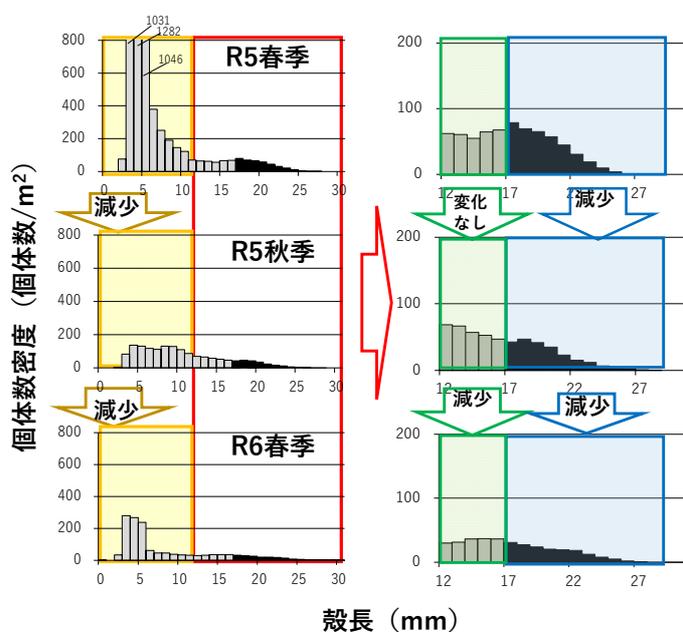


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R5年春季~R6年春季 全調査地点の平均)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

